

平成24年度 富山の魅力発信プロジェクト プレゼンテーションまとめ
 (富山市班「エコツーリズム」チーム)

【東京側の発表】

タイトル	総合感動薬 T4U (ティーフォーユー) ～こころの置き薬とやま・ヨクキクヨ～	
提案内容	課題設定	貴重な地元の「資源」を活かしきれていない 「富山らしさ」を十分に発信できていない ホスピタリティ精神がうまく表現されていない
	提案の コンセプト	薬の文化を活かし「処方箋」というイメージを用いて魅力を発信。 「魅力を掘り起こす／ファンを作る／つなげる」
	具体的方策	(初期) コンテンツ発掘・とやまファンの形成 ……東京でイベントの開催 (中期) モニタリング・とやまファンの定着化 ……富山ツアーの開催 (長期) 実用化に向けた提案・首都圏でのプロモーション
提案資料抜粋		

【富山側の発表】

タイトル	キクキク富山ツアー ～ココロの空腹・疲労に直接作用～	
提案内容	課題設定	富山市には、富山県の玄関口として、首都圏と富山県を、そして、富山県内の各市町村を「つなぐ」役割が必要である。
	提案の コンセプト	発信力のある人々に対してオーダーメイドツアーを実施し、富山ファンの定着化を目指す。
	具体的方策	・富山への旅を「処方」と考え、旅の記録を管理する「カルテ」を作成。カルテのデータベースを蓄積することで、富山を知っている／知らないに関わらず、ニーズに合わせたプランを提供する。 ・併せて、八尾の魅力を発信するため、丸の内朝大学で「おわら」講座を開催。
提案資料抜粋		